

磐田市 桶ヶ谷沼 ビジターセンター

第185号 2019年10月15日 だより



開館時間：午前9時～午後5時（月曜日 休館）

住所：〒438-0016 磐田市岩井315番地

電話：0538-39-3022 FAX：0538-39-3023

E-mail: okegaya-vc@city.iwata.lg.jp



「アカトンボ」ってどんなトンボ？

夕焼け小焼けの 赤とんぼ ^お負われてみたのは いつの日か…♪



みなさんもよく知っている「赤とんぼ」の歌です。詩人の三木露風^{みきろふう}が、子どもの頃^{こころ}に姉や^{ねえ}に背負^{せお}われて夕焼け空の下でアカトンボが飛び交^とっているのを見た、その思い出をもとに作った詩だと言われています。

では「アカトンボ」とは、いったいどんなトンボでしょうか？

秋に見られる体の色が赤いトンボを一般的に「アカトンボ」といいます。この地域^{ちいき}で見られる代表的なアカトンボは・・・



アキアカネ



ナツアカネ



マユタテアカネ



リスアカネ

アキアカネやナツアカネは少し高い木の枝先^{えださき}に止まるのが好きなトンボです。学校や公園などのサクラの枝先にも止まっているかもしれません。

桶ヶ谷沼の木道には、アカトンボが止まってくれるように竹ざおを100本くらい立ててあります。9月からアキアカネが見られているので、今年も多いかもしれません。ビジターセンターには、数えたアカトンボを記入する調査表が用意してあります。みなさんもぜひ、見に来てくださいね。



ウスバキトンボ



マユタテアカネやリスアカネは目の高さくらいの枝に止まります。また、木に止まることなく田んぼや畑の上を飛び回っているトンボは、大陸から風に乗ってやってきたウスバキトンボでしょう。体やはねの色だけでなく木の枝に止まっているときの姿勢^{しせい}も種類^{しゅるい}によって違うようですね。

この秋はアカトンボに注目してみてもいいかもしれません。

* 万葉集に詠まれた植物 その7 *



道の^へ辺の 尾花^{おぼな}が下の^{した} 思ひ草^{おもいぐさ} 今さらさらに 何をか思はむ
作者不詳(巻十一-2270)

歌意：道ばたのススキ（尾花）の下に生えている思い草は、何か物思わしげであるが、わたしは今さら何を思いなげきましようか。

植物に寄せた恋の歌で、この「思ひ草」が何の植物にあたるかについては古来多くの説があったようですが、現在は「ナンバンギセル」が定説となっています。

ナンバンギセル（南蛮煙管）という名前は、草の形を、タバコを吸うときの西洋のキセル（マドロスパイプ）に見立てたものです。別名の「思ひ草」はこの草の姿を、頭をかたむけ物思いにふける様子にたとえたもののようです。【参考：万葉植物事典（北隆館）・原色牧野植物大図鑑（北隆館）】



桶ヶ谷沼周辺でも数本ですが、今年もナンバンギセルの花を見ることができました。ススキの根に寄生しており、陰に隠れるようにひっそりと咲いていました。

* 9月のイベント報告 *

鳴く虫観察会 9月14日（土）17：30～

鳴く虫の種類や体のしくみ、鳴き方について講師から説明を聞き、うす暗くなるのを待って野外観察に出かけました。1時間ほどの間にコオロギやキリギリスの仲間だけでも15種類以上の鳴き声を聞き、姿を見ることができました。（講師：杉本 武さん）



自然とのふれ合いを

キノコを楽しむ会

11月10日（日）9：30～11：30（受付9：00～）

キノコの説明を受けたあと、桶ヶ谷沼周辺でキノコの観察をします。
野外活動ができる服装でご参加ください。

環境にやさしい工作教室

12月15日（日）9：30～11：30（受付9：00～）

自然を材料にした環境にやさしい工作教室をひらきます。

※どちらの行事も桶ヶ谷沼ビジターセンター集合です。

※どなたでも参加でき、参加費は無料です。申し込みは直接または電話、FAXでビジターセンターへどうぞ

